

リンドウの秋冬管理研修会を開催しました ～追肥と防寒対策について～

当課ではリンドウの栽培を管内の平地や、中山間地域での獣害対策と遊休農地の解消のために推進を行っています。10月8日、JA東びわこ山菜部会および花き部会を対象にこれからのリンドウの管理について研修会を行いました。

当日は台風14号の影響によりあいにくの雨天でしたが生産者12戸が出席しました。まず、愛荘町西出の生産者のほ場を見学し、新芽の萌芽を確認してもらいました。リンドウは10月中旬に追肥を行います。配布した資料には「1aあたりに窒素0.5kgを与える」と記載しています。生産者が施用量をイメージしやすくするためにペットボトルキャップを使用し、実際の1株あたりの量が分かるように指導を行いました。

冬期の凍霜害防止については、株に土をかけることも資料に記載しました。作業方法を理解しやすいように実際にお椀に土を入れた実演をしました。これらの方法により技術習得と理解を促すことができました。研修会の最後には新たな品種を紹介し、面積拡大を図りました。



新芽の萌芽を確認してもらう。



追肥と土かけについて説明を行う。



窒素12%肥料の場合、1株にキャップ1杯。